

1、園の教育目標

「健やかで 明るく 伸び伸びと」を教育目標とし、

- ・ 健康で明るい子どもに
- ・ よく考え、進んで物事をやりとげる子どもに
- ・ 心やさしく、思いやりのある子どもに
- ・ すなおで、のびのびした子どもに
- ・ きまりを守り、物を大切に使う子どもに

子どもたちが集団生活を通してたくさんの体験ができる豊かな環境を作るよう取り組む。

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、昨年度の自己評価で見つかった取り組むべき課題

個別項目

- ・ 「早くしましょう」など、せかす言葉をできるだけ使わないで、一人一人に合わせた対応心がけていますか。
- ・ 子どものなかに感染症が発生したとき、発生状況や予防対策などをすぐに全保護者に連絡していますか
- ・ 一人一人の子どもについて、家庭での養育方針などを知っていますか

領域「健康」

- ・ 子どもの体の諸機能の発達が促されるよう、遊具など環境を工夫していますか

領域「環境」

- ・ 生活のなかで様々なものに触れながら、その性質や仕組みに興味や関心がもてるように、環境を工夫していますか
- ・ 季節や天候により、自然や人間の生活に変化があることに気づくよう、保育を工夫していますか

領域「表現」

- ・ いろいろな素材に触れ、親しみ、イメージを豊かにもてるよう、配慮していますか

4、評価項目の職員自己点検平均値（3段階評価【1・2・3】による）

第1章 総則		評価項目	平均
1. 教育及び保育の基本と目標	3	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか	2.7
	6	環境を通して教育及び保育を行うために、重視しなければならない事項について、説明できますか	1.8
	9	子ども一人一人が、生命の保持が図られ、安定した情緒の下で、自己を十分に発揮する体験ができるように、心がけていますか	2.6
2. 特に配慮すべき事項			
(1)教育及び保育の配慮	15	あなたは、一日の生活の連続性やリズムの多様性に配慮して、保育を展開していますか	2.3
	18	いつでも安心して休息できる雰囲気やスペースを、保育室をはじめ園内に確保していますか	2.5
	21	子どもが不安になったときにいつでも受けとめられるよう、一人一人を視野に入れていきますか	2.6
(2)健康支援	30	健康診断の結果を、子どもに関係する他の職員と共有していますか	2.4
	33	疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしていますか	2.6
	36	家庭では十分に睡眠をとるなど、健康な生活リズムを身につけるよう、保護者との連携に努めていますか	2.5
(3)食育	48	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、配慮していますか	2.8
	51	あなた自身が「いただきます」「ごちそうさま」と感謝の気持ちをもって食事ができるよう努めていますか	2.8
	54	自然の恵みとしての食材や、調理する人への感謝の気持ちが育つよう、心がけていますか	2.4
第2章 子どもの発達			
	69	子どもの発達の特性や発達過程を理解し、発達の連続性に配慮して保育をしていますか	2.3

	72	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して、保育していますか	2.7
	75	あなた自身が、子ども同士の関係の基盤となるように、一人一人の子どもと信頼関係を構築していますか	2.6
第3章 「ねらい」及び「内容」			
1. 保育内容「健康」	84	いろいろな遊びのなかで、全身を使って体を動かすことができるような環境への配慮をしていますか	2.4
	87	十分に体を動かす気持ちよさを体験し、自ら体を動かそうとする意欲が育つように援助していますか	2.4
	90	様々な活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう、環境を工夫していますか	2.6
2. 保育内容 「人間関係」	105	子どもが自分で考え、自分で行動する体験ができるような生活や遊びを、心がけていますか	2.4
	108	いろいろな遊びを楽しみながら、物事をやり遂げようとする体験ができるよう保育の工夫をしていますか	2.5
	111	人前で発表するなど、保育者や友達に認められる体験ができるように、保育をすすめていますか	2.1
3. 保育内容「環境」	126	子どもが、自然を観察したり触れたりする中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気づくよう援助していますか	2.2
	129	子どもが身近な動植物に自分からさわろうとするときに、何に一番気をつけなければいけないか、いつも考えていますか	2.2
	132	新しいものを見つけた際に、人前で話す機会を設けるなど、一緒に喜び合う場をつくっていますか	2.4
4. 保育内容「言葉」	150	子どもが見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか	2.6
	153	子どもが、自分の体験や欲求を言葉で表現できるように、配慮していますか	2.5
	156	子どもが、みんなの前で話すときは、相手に分かりやすく話せるように援助していますか	2.3

5. 保育内容「表現」	171	様々な音、色、形、手触り、動きなどに気づいたり、感じたりして、楽しむことができるよう工夫していますか	2.2
	174	感動したことを伝え合う機会をつくり、豊かに表現できるよう援助していますか	2.2
	177	感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう保育の工夫をしていますか	1.8
第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項			
	234	指導計画には、教育及び保育の期間や子どもの生活経験、発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容が設定されていますか	2.2
	237	子ども一人一人の発達や活動などに合わせて、保育者には理解者、共同作業者など様々な役割があることを理解していますか	2.6
	240	年・期・月案などの長期的な指導計画と関連させて、より具体的な週・日案などの指導計画を作成していますか	2.3
第6章 研修と自己評価			
	264	自らの判断で、園の内外における研修・研究活動に、積極的に参加していますか	1.6
	267	あなたの保育実践について、同僚から意見を聞くように努めていますか	2.3
	270	保育者の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚して、研修に励んでいますか	2.2
第7章 子育て支援			
	279	あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう、心がけていますか	2.6
	282	保護者からの相談内容などを、あなた一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか	2.6
	285	子どもの体調がよくないときなどに、保護者に連絡する際、その内容がどのように相手に伝わるか、を考えていますか	2.9

5、自己評価の評価結果

結 果	内 容
2. 4	職員が、一つひとつの幼児の活動に、幼稚園指導要領に示された5領域のねらいを確認し、 特に平均値の低い項目、領域について、今年度の月案等に反映させて、 保護者との連携のもと幼児との信頼関係を築き、よりよき幼児教育の充実向上を図る。

6、今後取り組むべき課題

<p>平均値の低い項目</p> <ul style="list-style-type: none">・ 環境を通して教育及び保育を行うために、重視しなければならない事項について、説明できますか・ 自らの判断で、園の内外における研修・研究活動に、積極的に参加していますか <p>平均値の低い領域</p> <p>「人間関係」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 人前で発表するなど、保育者や友達に認められる体験ができるように、保育をすすめていますか <p>「表現」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう保育の工夫をしていますか
--

7、学校関係者評価委員会の意見

<p>新型コロナへの対応について、ねぎらっていただいた。</p> <p>また給食で野菜を増やしたほうがよいと要望をいただいた。</p>

8、具体的な園の取り組み

<p>人前で発言の機会を増やすなど取り組みを続ける。</p> <p>研修に積極的に参加して、園に帰って必ず実践する。</p>
--

